

登録コード	E8560400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	桐原 礼
英文授業名	Graduation Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				音楽教育学に関する先行研究の検討および課題設定を通して、卒業論文を完成することができる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				文献の収集方法, 論文の課題設定や内容構成について理解することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	音楽教育学に関する先行研究および文献の収集方法, 論文の課題設定や内容構成について学ぶ。						
(5)授業計画	第1回: ガイダンス 第2回: 資料収集の方法 第3回～6回: 調査の方法 文献調査 第7回～9回: 調査の方法 フィールド・ワーク 第10回～13回: 調査の方法 面接法その他 第14回～17回: 先行研究の収集・分析 第18回～20回: 研究テーマおよび課題の設定 第21回～23回: 内容構成について 第24回～26回: テーマおよび内容に関する中間発表 第27回: 発表にもとづく協議 第28回: 発表資料の作成について, 授業アンケート オンライン授業(同期型・非同期型)の教育的効果が見込まれる内容については, オンラインで実施する場合がある。						
(6)成績評価の方法	完成論文の査読を通して判断する。						
(7)成績評価の基準	()問題の設定が適切であり, ()論述方法が適切であり, ()根拠をもって論述しており, ()その上で自分の見解を提示できており, かつ感心させられるレベルにあれば「卓越している」, ()からの()の4項目が一定水準以上であれば「かなり上にある」, 3項目が一定水準であれば「やや上にある」, 3項目までが標準的であれば「水準にある」と判断する。						
(8)事前事後学習の内容	研究テーマに関する資料収集を積極的に進め, 問題意識を高めること。						
(9)履修上の注意	多くの文献にあたりながら, 主体的に論文執筆を進めること。						
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	随時対応可。 メールアドレス: kiriaya@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特になし。 必要に応じてその都度レジュメの資料を配布する。						
【参考文献】	適宜紹介する。 必要に応じてその都度レジュメの資料を配布する。						